

なぜ科学と無神論は相容れないのか？

John Lennox (Evoluionnews.org)

July 17, 2020



編集者注：この記事は、John Lennox の新著 *2084: Artificial Intelligence and the Future of Humanity* (2084:人工知能と人間の未来)からの抜き書きである。レノックス博士は、オックスフォード大学の数学教授。

科学というものは、宇宙は、少なくともある程度までは、人間の心にとって理解可能だという想定の下に、進行している。いかなる科学も、科学者がそのように信ずることなしに行われることはない。したがって、この信念の根拠を問うことが重要となる。無神論は、我々にその根拠を与えるものではない。なぜならそれは、この宇宙の生命と意識の、心をもたない (mindless)、導きをもたない (unguided) 起源を想定するものだからである。

チャールズ・ダーウィンはこの問題を知っていた。彼はこう書いた——「私にはこの恐ろしい疑惑が常に生じている。すなわち、より下等な動物の心から発生した、人間の心の確信するものに、はたして価値があるのか、またそもそも、それは信頼できるのか、ということだ。」

同じように、物理学者ジョン・ポールキンホーンは、心に起こっていることを物理学や化学に還元することは、意味を破壊することだと言った。

「思考が、電子化学的な神経の出来事に置き換えられる。2つのそのような出来事が、互いに合理的な理論にたいするはできない。その2つは正しくもなく、間違いでもない。それはただ起こるだけだ。・・・合理的な論考の世界は、無意味なシナプスの発火のおしゃべりへと、崩壊する。全く正直に言って、それが正しいことはあり得ず、誰もそれが正しいとは信じていない。」

Polkinghorne はクリスチャンだが、よく知られた無神論者の中にも、やはりここに困難を認める者がいる。

理性の廃止

Mind and Cosmos という本の中で、主導的な無神論者 Thomas Nagel は言っている。

「もし心の働きがそれ自体、単に物理的なものでないのなら、それは物理学によって十分に説明することはできない。・・・進化自然主義は、我々は、いかなる自分の確信も、真面目に受け取ることができないことを意味している。そしてそこには、進化自然主義が依存する、科学的世界像全体が含まれる。」

すなわち、自然主義と、したがって無神論は、科学は言うに及ばず、どんな議論であれ、構築し、理解し、信ずるのに必要な、合理性そのものの土台をひっくり返す、ということである。要するにそれは、科学の廃止につながるということで、一種の「人間の廃止」である。なぜなら、理性とは、人間であるとはどういうことかという問いの、本質的な部分だからである。

驚くことではないが、私が無神論を排斥するのは、キリスト教を真理と考えているからである。しかしそれが私の唯一の理由ではない。私がそれを排斥するのは、私が科学と合理的思考に興味をもつ数学者でもあるからである。どうして私が、数学をやるのに必要な合理性そのものを、明らかに廃止するような世界観を、肯定することができようか？ それとは対照的に、我々が合理的な神の似姿に創られたという事実に至るまで、人間の理性の起源を跡付ける、聖書の世界観は、なぜ我々が科学をやることができるかの説明として、現実的な意味をもっている。

科学と神は非常によく調和する。調和しないのは科学と無神論である。

【Gretchain による注】

自著に対する自らの抜き書きとして、非常によく書かれていると思う。ところで、今でもこういった議論を、頭から退け一蹴する人々がいるのだろうか、聞いてみたい。いたら、これをよく読んでいただき、考えを改めていただきたい。

こういった議論の展開を、この人のように「神」を持ち出さず、Intelligent Design という言葉を使って、これを、必然的に推論されて出てくる、自然界の存在として論ずる、有神論の有力な一派が存在する。これに反対する人々は大きな勢力をもち、これを頑として受け入れず、“そんなものは仮説としてさえ認められない”と言ってきた。彼らは頑迷なダーウィン信者たちである。

私はこの ID 仮説に長いこと付き合ってきたので、反対論者のこのねじ曲がった信念、すなわち「無神論」や「唯物論」が、どこからきているのか、そのあたりの心理的機微をよく知っている。それは、現在のアメリカで起こっている、暴動あるいは内乱の原因にまで、深く繋がっている。

キリスト教信仰をもつ数学者として、ID を支持する学者は、世界中にいくらでもいるであろう。ジョン・レノックスの他にも、ID 論者として有名な数学者に David Berlinski がいる。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/190719.pdf> 彼らは単なる「理神論者」(理屈によって神を論ずる)でなく、生きて実在する神を信ずる人々である。どうか、信仰者などというものは、論理的に考えられない愚物だというような考えを、せめて子供や青年に与えることのないよう、**関係者には**お願いしたいものである。